

大垣市道の駅整備検討委員会 第4回会議

議事録

(令和8年1月26日)

大垣市道の駅整備検討委員会第4回会議を令和8年1月26日（月）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 議題

- (1) 道の駅開駅に向けたフェーズ1（賑わい施設）基本計画について
- (2) 道の駅等整備基本方針（素案）について

委員は次のとおりである。

出席（13名）

車戸 慎夫	高木 朗義	木村 幸雄	宇佐美 新晶
清水 雄二	吉田 和郎	竹中 哲夫	杉崎 康宏
川合 千代子	櫻井 喜久男	安田 典子	浅井 かおり
平田 美歩			

欠席（3名）

竹内 治彦	野々村 修一	鈴木 宣也
-------	--------	-------

オブザーバーは次のとおりである。

出席（2名）

安藤 裕通	加納 敏彦
-------	-------

市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	河瀬 良康	都市計画部長	高木 俊介
地域創生戦略課長	藤墳 達也	道路課長	久野 裕二
都市計画課長	佐竹 一仁	都市計画課長	河田 憲章
道路課	河合 章弘	都市計画課	伊藤 孝弘
都市計画課	廣島 功二	都市計画課	矢田 佳大
都市計画課	角 夏希		

(開始時刻 13時30分)

事務局

1 開会

※ 出席者の確認

部長

2 部長あいさつ

※ 部長あいさつ (略)

事務局

3 議題

(1) 道の駅開駅に向けたフェーズ1 (賑わい施設) 基本計画について

- ・ それでは、議題1、道の駅開駅に向けたフェーズ1 (賑わい施設) についてご説明させていただきます。
- ・ はじめに、全体の話として、前回の会議を受け、基本方針の構成を変更したため、ご説明させていただきます。
- ・ スクリーンをご覧ください。

- ・ 前回の会議で、フェーズ1をフェーズ2よりも前の章で説明した方がフェーズ1からフェーズ2への展開が分かりやすいのではないかとのご意見をいただきました。
- ・ これを踏まえ、これまでフェーズ1は第5章でとりまとめる予定でしたが、第3章とし、フェーズ2の内容であった第3章と第4章をまとめて第4章とすることとしました。
- ・ なお、基本方針全体の構成については、議題2において後ほどご説明をさせていただきます。
- ・ それでは、改めまして、議題1、道の駅開駅に向けたフェーズ1 (賑わい施設) についてご説明させていただきます。
- ・ お手元資料No.1、基本方針の本編23ページをご覧ください。

- ・ これまでもフェーズ1については概略をお伝えさせていただいていたため、簡単にご説明いたします。
- ・ 23ページでは、道の駅のフェーズ1の考え方について記載しています。
- ・ 1つ目は、フェーズ2の成功に向けた助走期間として、フェーズ1をトライアル的に実施することで、フェーズ2整備までに様々なニーズや課題などを把握、蓄積しようというものです。
- ・ 24ページをご覧ください。

事務局

- ・2つ目は、コンテナやトレーラーハウスの利活用として、施工期間、コスト削減等の観点や、柔軟性、移動の容易さなどから移動型モジュールを活用しようというものです。
- ・25ページをご覧ください。

- ・3つ目は、わくわく感があふれ出すデザインアートとして、コンテナ等の柔軟に変更できる利点を生かし、季節やテーマに応じて姿を切り替えて、毎回新たな発見ができ、さらに大垣らしくてアートを感じられる映える空間づくりを目指そうというものです。
- ・続きまして、26ページをご覧ください。

- ・黄色で示した区域は、国が所有する道路予定地となっており、フェーズ1では特に赤枠で囲ったエリアを整備予定地として検討しています。
- ・なお、フェーズ2整備後は原則撤去、移設することとしています。
- ・続きまして、27ページをご覧ください。

- ・ここからは、導入機能の更新について記載をしています。
- ・具体的な導入機能を考える上で、まず、フェーズ1をどういう施設にしていきたいか、それを一言で表したのが導入機能コンセプトである、しなやかに未来を彩るみんなのキャンパスです。
- ・コンテナやトレーラーハウス等の可変性に富む移動型モジュールを活用し、本地区における土地利用のきっかけづくりとして、このエリアをキャンパスに見立て、様々な色を塗っていかうと、様々な付加価値を生み出していかうという思いを込めています。
- ・また、28ページでは、第2章で示した本市が目指す道の駅の導入機能方針に即し、5つのカテゴリーの下、導入機能を展開するものとしています。
- ・29ページをご覧ください。

- ・ここからは、具体的に検討する導入機能について記載しています。
- ・主に道路利用者をターゲットとした休憩基盤機能につきまして、コンテナだからといって簡素な休憩所ではなく、ここに来てほっと一息つきたくなる良質な安らぎ空間を目指します。
- ・主な施設としては、道の駅の基本的な機能であるトイレや情報発信施設、また、休憩をワンランク高めるシャワーやランドリー、そのほか、

事務局	<p>物販や飲食スペース等も検討するものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30ページをご覧ください。 ・主に住民をターゲットとした地域交流機能につきまして、様々な世代の住民が学び、遊び、交流できる居場所や、水都大垣を感じられる憩いの空間づくりを進めます。 ・また、地元製品の育成や何かをやりたい人のきっかけとなる場を提供します。 ・主な施設としては、子供の遊び場、親水広場、イベント広場、チャレンジショップなどを検討します。 ・31ページをご覧ください。 ・主に観光者をターゲットとした観光交通機能につきまして、思わず立ち寄りたくなるアートを感じられる空間づくりや、様々な交通モードに対応した観光ハブ拠点を目指します。 ・主な施設としては、アートコンテナ、路線バス、観光バスの停留所、車中泊専用パーキング、バイクステーションなどを検討します。 ・32ページをご覧ください。 ・デジタルスマート機能につきまして、地域の暮らしの価値を高めるほか、施設運営の効率化を目的として、様々な先進技術の導入をトライアル的に検討します。 ・主な機能としては、無人販売所、自動運転バスの発着地点、現地決済型ふるさと納税システムなどを検討します。 ・最後に、33ページをご覧ください。 ・防災レジリエンス機能につきまして、コンテナという可変性を生かし、有事の際には柔軟かつ機動的に対応することで、地域に対し途切れない安心を提供します。 ・主な機能としては、防災倉庫、自然エネルギー活用型コンテナ、高付加価値トイレコンテナなどを検討します。 ・なお、今回取りまとめた導入機能につきましては、決定しているものではなく、今後、こうした方針で検討していくというものでございます。 ・といたしますのも、民間事業者に運営として参入してもらうことを検討
-----	---

事務局	<p>していく中で、皆さまからもご提案いただいている事業者の意向やニーズを調査しながら、細かな導入機能を決めていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、フェーズ1の規模についてご説明させていただきます。 ・34ページをご覧ください。 <p>・フェーズ1は、先ほど26ページでご説明させていただいた赤枠のエリアになりますが、この敷地規模が約1.1haになりますので、この規模の中で駐車場や各種施設を配置する計画としております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場やバイクステーションなどの交通施設で約0.8ha、イベント広場や遊び場スペースで約0.1ha、トイレや情報発信施設をはじめとする屋内施設で約0.1haとなっています。 ・続きまして、35ページをご覧ください。 <p>・ここでは、施設配置とアクセス道路について記載してございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路は、今後、各種関係機関と検討していくこととなりますが、原則的には、市道の高屋桧線からの出入りを検討しており、そのほか、国道21号からの乗り入れができないかなど、そういった検討も行っています。 ・続きまして、36ページをご覧ください。 <p>・ここでは、管理運営手法について記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの道の駅では、指定管理者制度が多い状況です。 ・公共の建物までを設置して民間事業者が運営するという形です。 ・しかし、様々な可能性を検討するという意味で、民設民営も含め3パターンで検討していくこととしています。 ・以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・国有地を活用し、トライアルとして様々な機能を実験的に進めていくというご説明でした。 ・何かご質問等いかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を拠点に文化や歴史、ハリヨの保護活動、農業等について、アニメ等で発信するにあたり、現地に行きたいと思わせるような工夫がなされることを期待しています。

委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・また、昼のアートだけではなく、夜はイルミネーションで賑やかにすると面白いと思います。
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ1は、どれぐらいの期間、供用する想定ですか。 ・民間事業者が運営する場合、採算をとるにはある程度の期間が必要だと思います。 ・ただ、今回は、国有地を占用するので、何年占用できるか、明確に分からないと思いますが、そのあたりはどうお考えですか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ1の供用は、フェーズ2との関連性もございます。 ・フェーズ2の供用開始については、地権者の意向や農地法上の扱い等、色々なハードルがございますので最短で10年と見込んでおります。 ・それに対してフェーズ1は、5年以内、できればもう少し早い東海環状自動車道の全線開通に合わせた供用開始を目指しております。 ・フェーズ1を5年、フェーズ2を10年と考えており、大体5年からプラスアルファの年数がフェーズ1の供用期間でございます。 ・うまく事業が進めば、フェーズ1はもう少し短い期間で運用開始ということになるかと思えます。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、基本設計を行うと思いますが、先ほど■■■■委員がおっしゃった具体的な機能や配置に関する検討は、この委員会を通して行いますか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・この検討委員会は来年度も引き続きお願いしたいと思っております、その中で、具体的な部分についてもご審議いただきたいと考えております。
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・他にご質問等いかがでしょうか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の観点では、今回の計画で防災拠点として充実していると感じます。 ・ただ、地震の疑似体験ができる施設は他にありますが、風水害の模擬体験ができる施設はこのあたりにはないので、風水害が体験できる施設があれば良いと思います。 ・来ていただいた方に体験をしていただくことで、災害の意識を高めてもらえたらと思います。 ・また、フェーズ1のコンテナに、このあたりで起こった災害の歴史を振り返られるブースがあっても良いと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・名前が基本計画となっていますが、社会情勢の変化が激しいため、あまり縛られない方が良く思っていて、基本計画とは言っていますが、基本方針ぐらいのイメージでやられた方が良く思います。 ・基本的には道の駅は民設民営で、民間事業者が稼げないと回らないので、そういう中に公的というか、社会的な位置づけをどういうふうに民間事業者の方に入れてもらえるかが重要です。 ・できるだけ公金を投入しないような形で運営することが必要だと思います。 ・民間事業者が地域の状況とか、市民の皆さん、地元の方々の意向を聞きながら、できるだけフレキシブルに運営をやっているようなことを考えた方が良く思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ1への入り口について、高屋桧線だけにすると、国道21号利用者、高速道路利用者にとっては迂回をする必要があり不便に感じるため、通過してしまう人が多くいるのではないかと心配です。 ・高屋桧線からの入り口を残しつつ、国道21号からも入ることができる動線を確保してほしいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしましても、国道から進入口を確保したいと考えておりますので、関係機関と協議を進めてまいります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひよろしく願いいたします。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・35ページの駐車場や施設配置についてですが、このあたりは西側からの風が非常に強いので、建物が西側にあると風よけとして機能してくれるので、そのあたりを含めて施設配置を決定いただければと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員のおっしゃる通りだと思います。 ・ただ、道の駅が道路から見えないとなかなか集客につながらないかもしれないので、その相反する2つのことをうまくまとめて、施設配置を考えていただければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。 ・アクセス道路及び施設の位置についても、再度検討させていただきますので、よろしく願いいたします。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに関しましては、女性用トイレを多めに設置しておき、災害時には女性用エリアと男性用エリアの境界を移動できる仕組みにしておくと良いと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・33ページに、貯水槽や井戸等による給水手段の確保とありますが、フェーズ1の段階で井戸を掘る許可は出ていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸につきましては、関係機関と協議しており、正直難しいというご意見をいただいております。 ・ただ、防災施設や大垣の水のアピールとして設置したいと考えているので、引き続き協議していきたいと考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木に関しても、実際に植えるのか、鉢にするのかなど、トライアルという仮設性も含めながら、フェーズ1がうまくいくように基本設計で練っていただければと思います。

(2) 道の駅等整備基本方針（素案）について	
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見もないようですので、次に移りたいと思います。 ・それでは議題の(2)、道の駅等整備基本方針（素案）について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題2、道の駅等整備基本方針についてご説明させていただきます。 ・冒頭で委員 長からもお話がありましたが、全章をとりまとめいたしましたので、改めて、全体構成と、前回お示ししたのものから追加した箇所や変更した箇所の、主なものについてご説明させていただきます。 ・特に、むすびの文として、この検討委員会としての意向を、これまでの会議を踏まえ、概要としてまとめさせていただきました。こちらについてご意見をいただけたらと存じます。 ・それでは、資料No.1、基本方針を1枚めくっていただきまして、目次をご覧ください。 ・全体の構成につきましてご説明させていただきます。 ・「はじめに」と「むすびに」のページを新たに追加しております。 ・また、議題1でもお伝えさせていただきましたが、構成を少し変更しております。 ・「はじめに」で基本方針策定の趣旨、第1章、大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想、第2章、本市が目指す道の駅、第3章、道の駅開駅に向けたフェーズ1（賑わい施設）基本計画、第4章、道の駅フェーズ2整備の方向性、そして、最後に「むすびに」で締めくくっております。 ・それでは、前回からの追加や変更点についてご説明させていただきます。 ・1枚めくっていただきまして、「はじめに」をご覧ください。 ・ここでは、方針策定の背景や目的について記載しています。 ・次に、第2章の変更部分をご説明します。 ・12ページから13ページをご覧ください。 ・パブリックコメントの結果や、このたび実施しました地権者に対する土地利用意向調査の結果を記載しました。 ・13ページの土地利用に関する地権者ニーズをご覧ください。 ・令和7年11月14日から28日にかけて、大垣西インターチェンジ周辺地区の地権者合計686人にアンケート調査を実施し、367人からの回答があ

事務局

- りました。回答率は53.5%でした。
- ・このページでは、地権者がこの大垣西インターチェンジ周辺でどのような土地利用を期待しているのかということをもとめています。
 - ・期待する土地利用として最も回答が多かったのは、道の駅をはじめとする地域振興、観光につながる施設、2番目に多かったのは商業施設、3番目に多かったのは公園という結果になりました。
 - ・続きまして、14ページをご覧ください。
- ・本市が目指す道の駅として今回の重要なポイントは、段階的に整備を行っていくというところでありますので、段階整備に関する説明に図を加え、より具体的な記載をすることとしました。フェーズ1からフェーズ2の間においても段階的な拡張を進めることや、フェーズ2で終わりではなく、道の駅の基盤としては確立しつつも、柔軟にアップデートをしていくといったことを追記しています。
- ・続きまして、17ページをご覧ください。
- ・これまで道の駅のターゲットを道路利用者、住民、観光者としてきましたが、説得性を持たせるため、そこまでに至る流れ、検討の根拠を記載しました。
- ・続きまして、第4章の変更点についてご説明いたします。
 - ・56ページをご覧ください。
- ・議題1でご説明しましたが、第3章、道の駅と一体に機能する周辺土地利用、第4章、道の駅等整備基本方針をまとめ、第4章、道の駅フェーズ2整備の方向性として、フェーズ2及びその周辺土地利用に関する記載をとりまとめました。
- ・そうした修正と併せ、道の駅とゾーニングの関係をより分かりやすくするために、ゾーニングの色味や表現を一部修正しました。
 - ・具体的には、道の駅をオレンジ色で表現し、それぞれのエリアの特徴をより引き立てるといった表現に変更しました。
 - ・そのほか、第4章については、見せ方や色味を変えるデザイン変更等は行いましたが、内容自体に大きな変更はございません。
 - ・最後に、60ページの右側になりますが、「むすびに」をご覧ください。
- ・これまでの検討委員会の会議内容を踏まえまして、むすびの文をとりまとめさせていただきました。

事務局

- ・こちらは、これまでの皆様のご意見を踏まえ、道の駅と周辺土地利用を具現化するため、検討委員会としての思いをまとめたものでございます。
- ・読み上げさせていただきながら、記載内容について簡単に説明したいと思っております。
- ・3ブロック目の「はじめに」のところをご覧ください。
- ・はじめに、道の駅整備を迅速に進める必要がある中で、道の駅を大きく分けて2段階で整備することとしました。フェーズ1及びフェーズ2。
- ・フェーズ1は、フェーズ2の整備に向けたトライアルの場としての位置づけ、コンテナやトレーラーハウス等の移動型モジュールを活用した柔軟性の高い施設構成とします。
- ・簡易的な施設でありながら、デザイン性や革新性を備え、地域に寄り添いながら、賑わいの芽を育て、フェーズ2の成功に向けた確かな足がかりとします。
- ・こちらにつきましては、道の駅を1回でつくるのではなく、段階的に整備をしていくということを記載しているほか、地域のためになる施設とすること、コンテナだからといって殺風景なものであってはいけないといったことなど、様々な意見をいただいております、これらを踏まえた記載とさせていただきます。
- ・次に、4ブロック目の「また、」のところをご覧ください。
- ・また、フェーズ2では、道の駅単体の整備にとどまらず、官民連携による周辺との一体的な施設整備を検討することとしました。
- ・地域の農業振興、子育て環境や日常生活の利便性の向上、十分な防災機能の確保、交通結節点としての役割など、多様な機能を有機的に取り込み、道の駅を核とした複合的な拠点施設として展開することで、西美濃の新たなゲートウエーにふさわしい土地利用を目指します。
- ・こちらにつきましては、最終的に目指す道の駅について様々なご意見をいただきました。全てを網羅することは難しいため、キーワード的にちりばめながら整理いたしました。
- ・次に、5ブロック目の「なお、」のところをご覧ください。
- ・なお、生活、産業、商業等あらゆる営みを支え、観光資源としても重要な役割を果たしてきた水は、大垣のアイデンティティを形づくる欠かせない要素です。
- ・こうした水をはじめとする本市ならではの資源を通じて育まれてきた

事務局	<p>大垣の文化、大垣らしさを来場者が体感、共感できる場とすることで、市民の郷土愛を育み、その魅力を全国へ発信することが肝要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こちらにつきましては、何を売りにしていくのか、大垣らしいものが必要であるといったことに関して、多くの委員の皆さまからご意見いただきました。 ・そのようなご意見をまとめた文となります。 ・水をはじめとする本市ならではの資源や、その資源を通じて育まれてきた文化を発信する場とし、本市の特産品を多くの人に触れてもらうということももちろん大切ですが、それだけではなく、大垣らしさ、大垣の文化が訪れられた人の心に刻まれるような、そんな施設づくりが重要であるという思いを込めています。 ・主な部分についてご説明させていただきました。 ・皆さまそれぞれにこの事業に対しての思いがおありかと思しますので、こちらの文については別紙にて意見照会させていただきたく存じます。 ・会としての文になりますので、いただいた意見をそのまま全て反映することはできないかもしれませんが、ご了承ください。 ・期限は2月6日金曜日までとさせていただきます。 ・記載はこの用紙に限らず、自由様式で出していただいても構いません。 ・郵送、持参、ファクス、Eメールのいずれの方法でも受け付けておりますので、ご提出いただきますようお願いいたします。 ・以上で説明を終わります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・13ページの地権者アンケートの結果について、現状のままでよいという意見の理由は何でしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートには自由回答の部分がありましたが、現状のままで良いという回答の理由は記載されている方は見えませんでした。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。総花的にまとめるほど、実現が遠のく気がします。 ・こういうプロジェクトは、何かに焦点を当て、それだけは実現させようという思いでやらないとなかなか進まないと思います。 ・今はありとあらゆる意見が出ておりますので、これからどのように、取捨選択していくかが大事だと思います。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に関してですが、10年ほど前から国土交通省で、バイオネストという取り組みがあります。 ・できるだけ自然を生かし、ローコストでみんなが楽しみながら公園づくりができたら良いと思います。 ・東の方に河川敷がありますので、そのような活用をしてみてもいいでしょうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を重ねながら、自分が利用者としてどのような施設に立ち寄りたかという視点で考えると、先ほどからコンテナの話が出ていますが、それ自体に魅力があるとは思わないです。 ・そこで何をしているのか、どんな魅力を醸しているのかが大事です。 ・道の駅の人気などところでは、地産地消の新鮮なものが売っているのが当たり前で、とにかく安いです。 ・ここに訪れていただいた方が笑顔で帰れるような施設を目指して進めていただくとありがたいと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的型交流施設は、市が中心となって整備していくと思いますが、商業、物流、工業施設の土地利用については、ここに来たいという民間事業者がいないと話が進まないの、民間事業者の意向、地元住民の意向を踏まえて、土地利用の方向性が決まるとは思いますが、柔軟にやっていただく必要があると思います。 ・道の駅と他の土地利用の関連性を必ず持たせる必要はないと思っています、そのあたりは縛らずに、道の駅は道の駅で考え、民間事業者が稼げるような施設にしていけないと思います。 ・道の駅については、賑わいを創出し、民間事業者が運営できるような形を見つけつつ、周辺の土地利用については、商業、物流、工業等、民間事業者が入ってきやすいような仕組みづくりをよく考えて進めていただくと良いと思います。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な問題が挙げられていますが、根本的な問題は、道路問題です。 ・皆さん、高屋桧線を車で走られたことはございますか。 ・この道に慣れてしまえば大丈夫ですが、開通日に走った当初は、カーブが多いことに加え、アップダウンもあるので、走りにくいと思いました。 ・前回、入り口の話聞いた後に、それを踏まえて改めて走ってみると、入り口検討場所までの距離が非常に短い気がして、危ないと感じています。 ・高屋桧線は、橋の上で正面衝突や橋からダイブした車など、死亡事故もあります。 ・そういったことを考えると、入り口とか幹線道路から入ってくる道の構造は、よく検討しないといけないと思います。 ・施設ができ、多くの方が来られた際に、これだけ助走部分が少ないとなかなか難しいと感じたので、そういう面でもよく検討していただきたいと思います。 ・施設でいえば、先ほどもお話あった、トイレ問題があります。 ・数があれば良いというものではなく、いかに美しく保つか、これが一番大事なことだと思います。 ・入ったときに、トイレがすごくきれいな施設は、また行きたいと思えますし、非常に心配りができてすばらしく管理されていると感じます。このあたりだと、滋賀県の道の駅浅井三姉妹の郷が綺麗です。 ・洋式トイレは、故障することも多いので、故障したらすぐに修理するといった体制づくりが必要だと思います。 ・役所を通して修理をしようとする、予算の問題等で対応が遅れがちです。 ・遠方からわざわざ来られた方が故障したタイミングに遭遇するのは残念なので、もっと柔軟で迅速な修理対応ができる仕組みを作ってほしいです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が運営する場合、トイレをきれいに維持することは売り上げに跳ね返ってきますので、きつときれいなトイレにせざるを得ないとは思いますが。 ・それから、フェーズ1の出入り口については、非常に入りにくい設計に

委員長	<p>なっていると思いますが、フェーズ1では、どこから来る人が多いかを調査する段階だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> それを踏まえて、フェーズ2は、進入しやすい位置が選ばれると思います。 大垣西インターチェンジ周辺では、どれだけの人が来るのか。人を集めるための計画は難しいとは思いますが、交通の結節点という立地を生かしながら、民間事業者が出店しやすいようにしていかないといけません。 先ほど安く良いものを売るという話もありましたが、そういう魅力がないと、これは長続きしませんし、やはり大垣らしさがないと、どの道の駅へ行っても一緒となれば、うまくいきませんので、そのあたりが今後の一番の課題になってくると思います。 大垣西インターチェンジ周辺は、他のインターチェンジ周辺と比べて、手つかずのところですので、ぜひ何か進めて、トライ・アンド・エラーで実験的にやり、フェーズ2で反映していただきたいというのが、委員長としての思いでございます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> できれば大垣の人、地元の人がトライしやすいようにしていただきたいです。 大垣の人が心から大垣をPRできるような、できるだけ大垣の人を起用して、大垣の人が活躍できる場所をつくっていただきたいというのが希望としてあります。 民間事業者にしても、生まれ育った大垣をこうしていきたいという、最後まで責任を持ってこうしたいという気持ちを込めていただけるような、人選びをしてもらいたいと思います。 そうすると、大垣の人が頑張っているから応援しようかなという人も出てくると思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 公募のときにはぜひそういう形で実施していただきたいと思います。大垣の方がぜひ大垣を誇りに思っ愛していただきたいと私は強く思っています。 大垣ほど、企業の本社が多くあるところはなく、すごいことだと思いますので、一般の人たちがもう少し大垣にプライドと愛着を持っていたらいいと思います。 他にご意見もないようですので、進行を事務局にお返しします。

事務局

- ・ ■■■委員長、ありがとうございました。
- ・ これをもちまして、第4回会議を終了させていただきます。
- ・ 次回会議でございますが、2月18日の開催を予定しております。
- ・ 冒頭、■■■委員長からもお話がありましたが、次回は、検討委員会の皆さまから市長に対し、本基本方針を提言として提出していただく場とさせていただきたいと考えています。
- ・ 委員の皆さま一人ひとりから簡単にこの事業に対する思いを述べていただき、その後、■■■委員長から市長に対し、本基本方針を提出する流れとさせていただく予定ですのでよろしくお願いいたします。
- ・ 別途、開催のご案内をさせていただきますので、ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・ また、むすびの文に関する意見照会につきましては、2月6日までとさせていただきます。ご意見がございましたらご提出をお願いします。
- ・ 本日は、誠にありがとうございました。

(終了時刻 14時40分)